
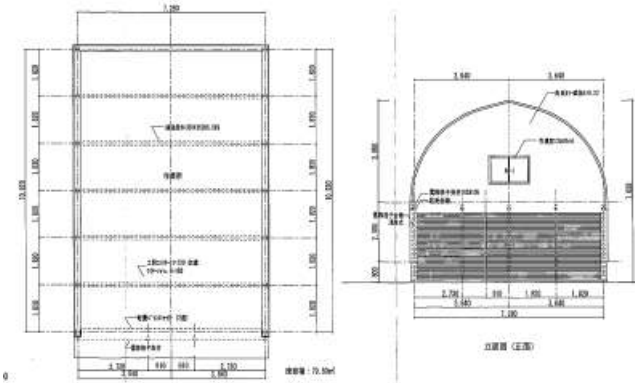


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-4-4 (間接補助)
事業名	被災地域農業復興総合支援事業 (農業用施設整備等)
事業費 総額	13,105 千円 (国費:9,828 千円) (内訳: 工事請負費 13,105 千円)
事業期間	平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月
事業目的・事業地区	<p>水稻をはじめとする土地利用型農業の復興を図るため、集落営農組織と農作業の受託を行ってきた組織の機能強化とともに、村全体の営農の企画・調整組織を設立し、それぞれの組織の連携強化を行うことにより、より効率的な営農体制の構築を目指す。そのため共同育苗施設を整備し、気象条件の違いを活かした育苗計画により、村全体の農作業時期を分散し、機械作業の集中を防ぎ、少ない機械での効率的な営農を行い、栄村農業の復興を図る。</p>
事業結果	<p>水稻の共同育苗施設を集落営農組織がある地域ごとに整備することで、連携強化によるより効率的な営農体制を構築した。</p> <p>共同育苗施設整備 (大久保地区 豪雪 RH ハウス 4060、77.76 m²)</p>
	 
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>本村では、豪雪地帯の特色である良質な雪解け水を使った水稻生産が営農の主力であり、施設を活用した、地域それぞれ分散した育苗作業が行われている。</p> <p>○対象地域農家数：13 戸、育苗枚数 2,500 枚 (約 15ha)</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>入札により建設工事請負契約を締結しており、事業費は適切なものとする。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>本事業の事業期間は本体整備に約一カ月余りと非常に短く、ドーム型を用いた鉄骨の本施設は除雪が不要で、平均積雪 2 メートル以上の豪雪地帯である本村に適しており、事業手法は適切であったと考えられる。</p> <p>また、事業期間について予定通り進めることができた。</p>
事業担当部局	栄村役場 農政課 電話番号：0269-87-3113